


米沢興讓館高校SSH通信

スーパサイエンスハイスクール

米沢興讓館高等学校SSHサマースクール、米沢興讓館サイエンスフォーラム in 山大

KOJOKAN SSH SUMMER SCHOOL



きみたちの
を大切にします。

山形県立米沢興讓館高等学校 SSH

7月は本校が今まで経験したことがない初めての大きな取り組みが2つ計画されている。地域の中学生3年生を主な対象とした「米沢興讓館高等学校SSHサマースクール」及び行ってきた研究をポスターセッション方式により英語で発表を行う「米沢興讓館サイエンスフォーラム in 山大」である。これらに企画・運営の主役として臨む本校3年生理数科生徒の声を聞いてみよう。

7月のSSH関連行事に向けて
3年男子生徒（米沢三中出身）
私達3年理数科は7月のサイエンスフォーラムに向け、山形の留学生の方の協力のもと、英語でのポスター発表の準備を進めています。各班、悪戦苦闘しながら発表の構成や実験内容の英訳などに取組んでいます。複雑な内容をいかに分かりやすく伝えるかが難しいところですが、7月の本番までには完璧に仕上げたいと思います。

また、7月はSSHサマースクールもあります。これは、中学生3年生を対象としたSSH一日体験入学となります。これまでのケミラボや昨年の興讓祭での経験を活かし、科学の楽しさをより知ってもらえるようなイベントにしたいと思っています。どの行事にも全身全霊で捧げる心意気で臨んでいきたいです。

COLLABORATIVE STUDY PROGRAM

山形大学の留学生と
米沢興讓館高校生による
英語での研究発表会



米沢興讓館サイエンスフォーラム in 山大
YONEZAWAKOJOKAN SCIENCE FORUM IN YAMADAI

開催日 平成26年7月15日（火）
14:30~16:50
場所 山形大学工学部百周年記念会館

7月30日 SSHサマースクール・成果発表会のおおまかな日程

	中学3年生	中学校・高校教員等
8:30	受付 [講堂玄関]	
9:00	開会式・SSH概要説明・研究内容口頭発表 (3年代表生徒) [講堂]	
10:00	全てのグループのポスター発表 (3年11グループ) [体育館]	
11:00	SSH体験 (生徒による科学実験) [校内各教室]	SSH成果発表会 [大多目的教室]
12:00	昼食休憩 [大多目的教室]	解散 (希望があれば参加可)
13:00	学習内容等の質問会・勉強会 [大多目的教室]	※ [] は場所を示すが、申込人数によっては変更もあり得る。
14:00	校舎・部活動等紹介 (案内)	
15:00	閉会式・解散 [講堂]	

7月15日 米沢興讓館サイエンスフォーラム in 山大 日程概要

時刻	内容	時間
14:00	5校時終了後、移動開始	30分
14:30	山大到着後、ポスター掲示・諸準備	30分
15:00	開会式	10分
15:10	本校生の英語によるポスターセッション	50分
16:00	休憩	10分
16:10	山形大学工学部留学生による英語での研究紹介	30分
16:40	閉会式	10分
16:50	現地解散	

1年生のセンス・オブ・ワンダー体験

FW研修を振り返って
1年女子生徒（川西中出身）
今回のフィールドワーク研修では、天候にも恵まれ素晴らしい環境の中で自然にふれながら多くのことを学ぶことができました。

山では珍しい植物がたくさんあり、また、本校の校章であるゴゼンタチバナも実際に見ることができ、貴重な体験をすることができました。初めてみる本物のゴゼンタチバナはとても小さいながら六つの葉と白い花をつけ生き生きと咲いていました。授業で植生について学んでいたのが今回の研修ではより深く理解することができました。

山登りは大変で疲れましたが、自然について多くのことを知ることができ、またクラスの中も深まり、とても良い研修となりました。



FSを振り返って
1年女子生徒（高畠一中出身）
第1回目のFSでは、このコースのテーマである「つながり」を考えることができた。

初めにネットワークについて話があり、ネットワークとは物と物とのつながり全体を示すことを学んだ。次にグラフについて話があり、平均距離をもとめたりケニーニヒスベルクの橋や貪欲法を教えていただいたりした。

平均距離をもとめるときはグループの人と分担して解いたり、みんな考えて出し合ったりと協力してできて楽しかった。私は数学が苦手だが、田中敦先生の講演はわかりやすかった。特に「離心数」などの言葉は聞いたことがなかった。なので覚えておこうと思った。

人とのつながりだけでなく、たくさんのものとのつながって私達は日々生活しているのだと感じた。